

焼き板

杉板を焚き火の中で焦がしてこすると、独特の色合いと光沢が出てきます。絵具を使って絵や文字を書けば、素敵な壁飾りの出来上がり！



ねらいとして考えられるもの

- ・木の特性を知り、自分だけのオリジナルデザインを考えながら物を作る楽しさを味わう。
- ・生活の知恵の習得

可能な活動場所

第1・第2・第3ファイア場・炊事場（雨天時）

所員の指導	対象	月	人数	所要時間	費用
指導可*1	小学生以上	通年	10~100人 *2	3時間	200円 *3*4

団体が準備するもの

軍手（滑り止めのないもの）
新聞紙、ぼろ布、マッチ

げんきプラザが準備するもの

杉板、たわし、火ばさみ、ヒートン、ペンチ、ポスターカラー

実施要領

導入

- ① 動機づけ
- ② 安全上の注意（下記「留意点」参照）

準備

- ① 軍手をする。
- ② 杉板をひとり一枚ずつ用意する。
- ③ 新聞紙を広げておく。
- ④ たわし・マジックを用意する。
- ⑤ ぼろ布を用意する。
- ⑥ ヒートンを用意する。

実施

- ① 火床に薪（又はせご板）を置き、火をおこす。
- ② 新聞紙を広げる（炊事場の場合）
- ③ 火の勢いが弱まったら、板を焼き始める。
- ④ 火ばさみを使って、板をまんべんなく焦がす。
- ⑤ 焦がした板が冷めたら、平らな所に置く。（石の上で行うと、板に傷がつきやすい。）
- ⑥ たわしで焦げ目がなくなるまで木目にそってよくみがく。（こげ茶色の生地がみえてくるまで）
- ⑦ ぼろ布や新聞紙で、自然な光沢が出るまでよくみがく。
- ⑧ 好きな絵を描く。
- ⑨ ヒートンをつける。
- ⑩ ヒートンに、紐を結びつける。

※火を使うので、火傷に十分注意する。

※火傷対策として、水をバケツに用意しておくとい。

片付け

- ① 道具を片付ける。
- ② 使った場所の掃除をし、ゴミは所定の場所に捨てる。
※詳しくはパネルを参照してください。

まとめ

- ・出来上がった作品を見せ合い、形と絵の組み合わせなど、良さを見つける。
- ・ふりかえり
- ・感想発表等

留意点

- ① 火を使う活動です。火傷等充分注意しましょう。
- ② 作業するときは、必ず軍手を着用しましょう。
- ③ 後片付けを、しっかりしましょう。

指導のポイント・展開のアイデア

- ・板を選ぶ時、節のあるものや曲線を含んだ板の方が、おもしろい仕上がりになります。
(板の縁をよく焼くことで、味のある形になります。)
- ・焦げを出来る限り落としてから、布でみがくとよりきれいに仕上がります。

- *1 指導可能時間は 9:15~11:45 13:00~17:00 です。指導希望団体が重なる場合等、ご要望に添えない場合や、団体指導者をお願いすることがあります。
- *2 60人を超える場合は、2班に分けて実施したり、交代で実施していただく場合もあります。
- *3 薪代(300円)が別途必要です。
- *4 多人数の場合、せご板(400円)をご利用いただけます。